

## 1 年 B 組 国語科 学習指導案

指導者 細川 美保

1 時 間 (場 所) 10:00～10:50 (1 年 B 組教室)

### 2 個人研究テーマ

ことばや文のつながりを丁寧に捉え、読みを深めて、論理的に説明する学習活動の展開

### 3 研究テーマ設定の理由

現在、様々な場でコミュニケーション能力の育成が求められているが、国語科では「伝えたいことをうまく伝えること」「伝えたい事柄、自分の考えについて、根拠を明確にして具体的に書いたり、話したりすること」「課題解決のために必要な情報を集めたり、読むべき箇所を自ら判断したりすること」に課題があるとされている。持続可能な社会を支える資質・能力として、他者に自分の考えを伝える力、多くの情報から必要な情報を取り出し、筋道を立てて考え、表現する力は必須である。

そこで、言葉そのものを理解すること、言葉のつながりから文章全体はどのような内容を述べているかを的確に理解すること、そしてそのことについて、自らがどのような考えをもって筋道を立てて表現することが必要であると考えた。また、同じ事実を基にしている、その人の考えや価値観によって、理由づけの内容に違いが表れる。その違いを知ることが、人を知ることにともつながり、共生につながる。それが持続可能な社会を支える資質・能力につながるのではないかと考え、研究テーマとした。

4 単元名 詩の読みを深め合おう

### 5 単元目標

詩の言葉や、言葉同士のつながりに着目し、様々な視点を意識して、自分の経験を踏まえながら読むとともに、友だちとの交流を通して想像したり、考えたりして視野を広げることで、読みを深めることができる。

#### 〔本質的な問い〕

詩を分析的に読み、人物像を捉え、批評的に詩と向き合うにはどうすればよいのか。

#### 〔永続的な理解〕

人は、ある一定の価値観をもって人の言動を判断する。詩の言葉は省略がある分だけ、解釈の多様性が生じ、他者と多様な意見を交流しつつ解釈に向かうという学習が有効に機能するものである。詩の言葉に基づいて、自分の経験を踏まえながら登場人物の言動について考えることは、その人物像に迫ることであり、詩を読み深めることにもつながる。そして、他者との交流を通して多様な意見を自分の中に取り入れ、詩を読み深めることは批評的に詩と向き合うことにつながる。

### 6 本単元と研究テーマとの関わり

#### (1) 生徒について

本学級の生徒40名(男子20名、女子20名)は、明るく意欲的に学習に取り組むことができる。グループ学習では、個人が意見を出し合う中で、共感したり反論したりしながら力を合わせて読みを深め合うことが日を重ねるごとにできるようになってきた。

10月に詩の学習を行った際には、言葉を丁寧に捉え、言葉そのものや言葉のつながりから考えたことや表現方法の工夫について、友だちと協力しながら読み深め、詩の魅力を伝える解説文を書いた。その後、ルーブリックに照らし合わせて生徒が解説文を相互評価した。その結果39名中、生徒がA判定としたのが19人、B判定としたのが20人、C判定は0人という結果になった。また、ルーブリックのA評価の中に「その詩を改めて読み直したくなる」という項目があったが、それに対して「自分が思いつかなかったところに着目していたから。」「解説文の最後に、読み方を示してくれる一文があったから。」などと根拠を示した評価がされていた。しかし、実際には、詩の言葉を引用してはいるが、どういうところが魅力なのか具体的に書けておらず、論理的な説明が十分でない生徒が数名いた。また、自分の経験を基に様々な視点で

話し合い、深めていくという点において課題が残るものとなった。そこで今回は、詩という短い言葉の集合体の中で、吟味され、精選された言葉という事実に触れ、自分の経験に基づいて解釈することで主張につなげていく学習課題を再度設定し、詩を読み深めさせたいと考えている。また、友だちとの関わりの中で、詩の特性としての多様な読みに触れさせることで、見方や考え方を広げることができるのではないかと考えている。

## (2) 単元について

私たちの日常には言葉があふれている。しかし、その中で、一つ一つの言葉について考え、吟味するという機会はあまりない。そのため、思いや場にそぐわない言葉を発したり、友だちの発する言葉の意味を取り違えたりして、人間関係に悩む状況になることもある。

本単元では、研ぎ澄まされた言葉の集まりである詩を学習することで、一つ一つの言葉がもつ意味を考え、言葉と言葉がどのようにつながり、つながった言葉がどのような思いやイメージを表すのかを、自分の経験に基づいて考えさせる。同じ叙述であっても、生徒個々が独自の「理由づけ」をすることで多様な「読み」が生まれる。「読み」は人物やできごとの解釈、場面構成などで成立し、読み手それぞれのものの見方、考え方を反映した豊かなものとなることが期待される。それを個人内で終わらせることなく他者との交流を通して想像したり考えたりする中で多様な意見を自分の中に取り入れ、さらに詩を読み深めさせていきたい。また、その「読み」を解説文という形で筋道立てて表現させる活動の中で、友だちの多様なものの見方や考え方を知り、自分のものの見方や考え方を広げさせていきたい。

## (3) 指導について

本単元は「『僕』を通して語られる『娘』の心情をどのように受け止めるか、について解説文を書く」という課題の解決に向けて学習する。この単元を通して、言葉そのものがもつ力やそのつながりによる表現の豊かさに触れ、解釈することで、自分の考えを広げることができると考えている。詩を解釈するということは、そこに書かれている「言葉」を「事実」として、それを読む各自が自分の経験を基に「理由づけ」し、鑑賞につなげていくことである。本単元での目標「詩の言葉や、言葉同士のつながりに着目し、自分の経験や他者の考えを踏まえながら想像したり、考えたりすることを通して、読みを深める」を達成するために、具体的には、次のことに留意して指導したい。

一つ目は、詩の言葉を大切にするとすることである。学習者の思考の基本は詩の言葉、という「事実」である。それをどう理由づけするかによって読みは違ってくる。言葉の一つ一つを大切にしていくことを基本において学習を進めたい。

二つ目は、協同の学びを発揮する場を設定することである。詩を読み深める際に、問答ゲームの形式を用い、自分自身の考えを明確にしたり深めたりしていく場を設ける。さらに全体の学習の中でも、友だちの発言に対し疑問に思ったり自分の意見とは異なっていると思ったりした場合に積極的に自分の考えを伝えたり、友だちの意見に補足して賛同したりしながら、全体で読み深めていく場を設定する。

三つ目は、相互評価を行う場を設定することである。自分の考えが深まるきっかけとなった発言をした友だちを授業の最後に発表し、賞賛する場を設ける。友だちの発言から、詩に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の見方や考え方と比較したり検討したりすることを通して、自分のものの見方や考え方を広げさせたい。

四つ目は比べ読みを取り入れることである。同じ作者の作品「雪の日に」を併せて読むことで「娘」の人物像についてより深く読むことができるのではないかと考えている。

## 7 評価計画

| 評価目標(観点)                                                                | 評価方法(視点)                                                                                                                      |
|-------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① 詩の表現に関心をもち、主体的に作者の思いを理解しようとしたり、そこから考えた詩の魅力を表現しようとしたりする。<br>(関心・意欲・態度) | ◎ パフォーマンス課題<br>B組の生徒が、C組の生徒に吉野弘作「夕焼け」について解説することになりました。読者であるあなたは、「僕」を通して語られる「娘」の心情をどのように受け止め、説明しますか。解説文を書いてください。<br>(評価目標の①②③) |
| ② 詩に表れているものの見方や考え方を自分の経験に基づいて捉え、自分のものの見方や考え方を広げている。(読むこと)               |                                                                                                                               |

|                                                                                    |                                                 |
|------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| ③ 語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意し、語感を磨くとともに、詩の中の語彙に関心をもつことができる。<br>(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項) | ○観察（評価目標の①）<br>○ワークシートやアドバイスの記述分析<br>(評価目標の①②③) |
|------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|

## 8 指導計画（全 9 時間）

| 次 | 学習内容                                                                                                                                                                          | ◇評価規準（観点）                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 時間               |
|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|
| 1 | <b>学習の見通しをもとう。</b><br>○学習内容と単元を通してどのような学習をするか確認する。<br>○詩を読み、気付きや疑問点を挙げ、それに対する意見や解答をペアの友だちが書く。                                                                                 | ◇詩に表れているものの見方や考え方に触れることで、自分のものの見方や考え方を広げている。<br>(関心・意欲・態度)(読むこと)<br>◇表現技法や詩の構成などについて、既習事項を理解している。(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)                                                                                                                                                                                       | 1                |
| 2 | <b>詩を読み深めよう。</b><br>○詩の場面や登場人物について読み深める。<br>○なぜ三回目に「娘」は席を譲らなかったのか。<br>○「やさしい心の持ち主はわれにもあらず受難者となる」とはどのような意味なのだろう。<br>○「娘」を「受難者」と捉えた「僕」はどのような人物なのだろう。<br>○あなたは「娘」をどのような人物と考えるのか。 | ◇「なぜ三回目に『娘』は席を譲らなかったのか」「『やさしい心の持ち主はわれにもあらず受難者となる』とはどのような意味か」について、場面の展開や詩の言葉に注意して読んでいる。(読むこと)<br>◇『娘』を『受難者』と捉えた『僕』はどのような人物なのかについて、詩の言葉を手がかりにしながら論理的に思考したり、豊かに想像したりして読み深めている。<br>(読むこと)<br>◇話合いを通して自分の考えをまとめることができる。<br>(読むこと)<br>◇「あなたは『娘』をどのような人物と考えるのか」について、詩の言葉を手がかりにしながら論理的に思考したり、豊かに想像したりして読み深めている。(読むこと) | 4<br>本時<br>(その3) |
| 3 | <b>解説文を書こう。</b><br>○解説文の下書きを書く。<br>○友だちの解説文についてアドバイスをする。<br>○友だちのアドバイスを参考にして解説文を書く。                                                                                           | ◇2次までの学習を基に解説文を書いている。(読むこと)<br>◇詩の内容と主張が論理的に表現されているかどうか、友だちとアドバイスをし合っている。(読むこと)                                                                                                                                                                                                                               | 2                |
| 4 | <b>友だちの解説文を読み、批評し合おう。</b><br>○お互いが書いた解説文を相互評価する。                                                                                                                              | ◇友だちが書いた解説文を読み、詩に表れているものの見方や考え方を捉え、自分のものの見方や考え方を広げている。(読むこと)                                                                                                                                                                                                                                                  | 1                |
| 5 | <b>同作家の作品を読み比べよう。</b><br>○「雪の白さ」とは何を表しているのだろう。                                                                                                                                | ◇「雪の日に」と「夕焼け」の比べ読みを通して、「娘」の心情を読み深めている。(読むこと)                                                                                                                                                                                                                                                                  | 1                |

## 9 本時の指導（4 / 9 時間）

(1) 主 題 「僕」の人物像について友だちと話し合おう。

(2) ねらい

○ 詩の言葉を手がかりにしながら「僕」について読み深めることができる。

○ 話合いを通して自分の考えをまとめることができる。

(3) 展 開

| 学習活動（形態）                           | 時間                                                         | ○教師の働きかけ・予想される生徒の反応                                                                                                                        | ○指導の工夫 ◇評価（方法）                                                                                                                                     |
|------------------------------------|------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 本時の学習課題を確認する。（一斉）                | 4                                                          | ○「娘」を「受難者」と捉えている「僕」について読み深めよう。                                                                                                             | ○詩を精読するために言葉を丁寧に捉えることを生徒に伝える。                                                                                                                      |
| 2 詩を音読する。（一斉）                      | 5                                                          | ○詩を音読しよう。                                                                                                                                  | ○言葉や詩全体をじっくりと味わうために、各自で音読した後、指名された生徒一人の音読を聞く。                                                                                                      |
| 3 前時までの振り返りをする。（一斉）                | 5                                                          | ○「僕」は「娘」をどのような人物だと捉えていたかを押さえよう。                                                                                                            | ○主発問への足がかりとするために、前時の学習を想起させる。                                                                                                                      |
| 「娘」を「受難者」と捉えている「僕」とはどのような人物なのだろうか。 |                                                            |                                                                                                                                            |                                                                                                                                                    |
| 4 「僕」について話合いの中で読み深める。（ペア）          | 6                                                          | ○「僕」の人物像について自分の考えをワークシートに書こう。                                                                                                              | ○思考の整理をさせるために、人物像とその根拠をワークシートに書かせる。                                                                                                                |
|                                    | 6                                                          | ○「僕」の人物像に関する問答ゲームを行おう。<br>【例】<br>A：「僕」はどのような人だと思いますか。<br>B：「僕」はとてもいい人だと思います。なぜなら・・・<br>A：いい人とは具体的にどのような人か説明してください。                         | ○考えとその根拠を確かなものにさせるために、問答ゲームで友だちの質問に答えさせる。【協同】<br>○問答ゲームを通して、自分の考えを支える根拠が不足していたり、人物像について新たな発見があったりする生徒にはワークシートに加筆させる。                               |
| （全体）                               | 20                                                         | ○自分の考えを、詩の言葉を根拠に発表しよう。<br>・娘の思いを細かく考えられているから、同じような経験をしたことがある人だと思う。<br>・「僕」は「娘」と同じ思いではないか。そう考えると優しい人だと思う。<br>・「夕焼け」を美しいものだと思う、心に余裕がある人だと思う。 | ○学級全体で友だちの意見を補足したり発展させたりする話合いにするために、根拠が不明確な生徒にも積極的に発言を促す。<br>◇詩の言葉を手がかりにしながら「僕」について読み深めることができる。（発表・ワークシート）<br>◇話合いを通して自分の考えをまとめることができる。（発表・ワークシート） |
| 5 本時の学びを振り返る。（一斉）                  | 4                                                          | ○読みが深まるきっかけとなった発言について発表しよう。<br>・〇〇君の△△という発言は、自分とは視点が違っていて、新たな発見がありました。                                                                     | ○話合いが、読みを深めることにつながることに気付かせる。<br>○次の話合いへの意欲付けと学びの確認のために、お互いの発言について評価させる。                                                                            |
| 授業研究の視点                            | 詩の表現と自分の体験とをつなげて自分の主張を説明するという活動は、論理的に思考する力の育成につながるものであったか。 |                                                                                                                                            |                                                                                                                                                    |